

12月15日（水）午前9時20分より
輸送の安全確保を目指して
宗吾車両基地で「異常時総合訓練」を実施しました

新型スカイライナー車両（AE形）を使った訓練も実施

芝山鉄道、佐倉警察署および酒々井消防署と合同で12月15日（水）午前9時20分から、宗吾車両基地（千葉県印旛郡酒々井町）で「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、12月10日（金）から取り組んでいる「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したものです。海外旅行や初詣等で多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせ、社員一人ひとりが安全意識の高揚に努め、輸送の安全確保と重大事故発生時における処理・技術力の向上を図りました。

訓練は、踏切内において普通乗用車と列車が接触し、列車が脱線、上下線とも不通になり、乗客の中にも負傷者が出ていることを想定して行いました。

上記想定のもと、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報、列車内及び乗用車内に閉じ込められた負傷者の救出救護、お客様の誘導案内、事故現場の復旧作業、新型スカイライナー車両（AE形）が事故車両を牽引する訓練などを、当社鉄道部門、芝山鉄道と佐倉警察署・酒々井消防署の、合計215名が合同で行いました。この他、事故発生時における二次災害防止のために使用する、信号炎管の点火訓練を行いました。



本年行われた異常時総合訓練の様子

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 平成22年12月15日(水) 9時20分～13時15分
2. 場 所 宗吾車両基地
住 所：印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1
3. 参加人員 215名
※当社鉄道部門、芝山鉄道と佐倉警察署・酒々井消防署の合計人数

4. 訓練の概要

(1) 事故復旧訓練

①事故想定内容

酒々井～宗吾参道間の踏切において、直前進入してきた普通乗用車と下り快速列車が接触し脱線した。この事故により全てのパンダグラフが破損、ATS受電器が破損、枕木が損壊、踏切遮断機及び踏切警報機が損壊、下り電車線が垂下等の被害が発生した。事故列車により上り線も支障し、上下線とも不通となったほか、重軽傷者含む乗客6名、乗用車内に閉じ込められた運転手1名が負傷した。

②訓練内容

- (ア) 事故対策本部・現地対策本部の設置
- (イ) 列車防護、連絡通報、負傷者救出、旅客の誘導案内
- (ウ) 緊急出動と復旧作業
- (エ) 事故車両の収容 ※事故車両を新型スカイライナー車両(AE形)が牽引

(2) 信号炎管点火訓練

訓練内容

信号炎管の点火方法と使用方法

以 上